

2016年度第3回NGO-JICA協議会資料

-青年海外協力隊経験者による地域活性化の取組-

(公社)青年海外協力協会

国際協力の経験を地方創生に活かす

-組織紹介

**わたしたちは青年海外協力隊で培った精神と経験を
社会に還元することを目指しています**

青年海外協力協会
Japan Overseas Cooperative Association



**青年海外協力隊
帰国隊員**

- 約4万人の青年海外協力隊帰国隊員
- 全国47都道府県の「青年海外協力隊OB会」ネットワーク

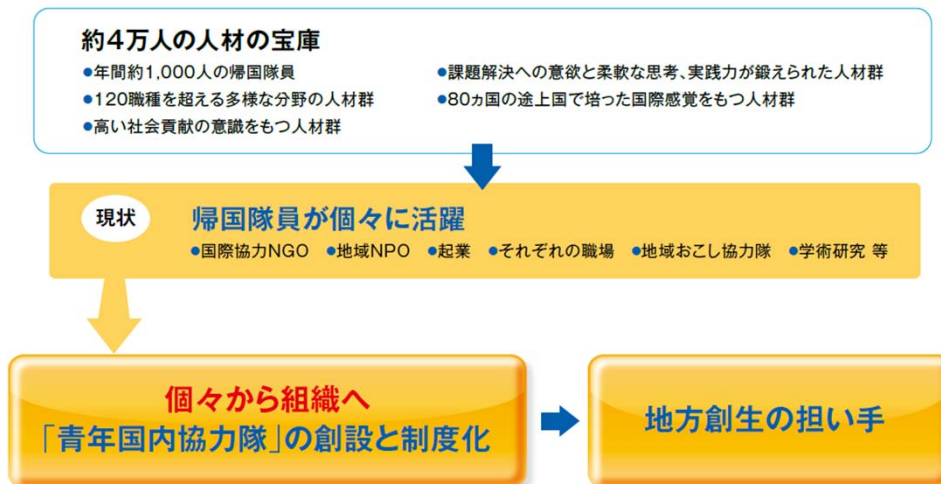
青年海外協力協会は青年海外協力隊の帰国隊員を中心に組織されている公益社団法人です。青年海外協力隊で培った精神とその経験を広く普及するため、OB・OG会をはじめとする多くの団体とのネットワークを活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力の先駆者としてはもちろんのこと、国際社会における建設的な役割を果たせる、より有益な協力活動を展開していくことを目的としています。

多種多様な能力と実績をもつ人材の宝庫です

- 120職種を超える多様な分野の人材群
- 高い社会貢献の意識をもつ人材群
- 課題解決への意欲と柔軟な思考、実践力が鍛えられた人材群
- 80か国の途上国で培った国際感覚のある人材群



青年海外協力隊50年の財産を「地方創生」事業に活かす



青年海外協力隊に求められる要請は、地方創生の現場で求められるものと似ている…

職種	派遣場所	要請内容
コミュニティ開発	フィリピン 北カマリネス州メルセデス町役場観光事務所	白砂のビーチや手つかずの離島等観光資源を多く有する人口約5万人弱の町の町役場の観光課に配属となり、地域住民の生計向上や 観光資源保護につながる事業の提案 や改善に向けた協力、 地域の特産品や土産物のマーケティング 支援等を実施する。
コミュニティ開発	コロンビア サン・ビセンテ・フェレール市役所	一村一品運動団体(イニシアチブ)の組織強化 を図り、関連機関の調整を行い、一村一品運動推進のためのサポートを行う。 住民参加型の地域の自立発展・再活性化を目的とした活動の企画・助言、実行のサポート を行う。
マーケティング	ベトナム ビズップヌイバ国立公園管理事務所	国内有数の避暑地ダラット市近郊にある国立公園において、観光資源の効果的な活用を目指し、配属先と共に観光客の増加に向けて 現状と課題を分析し、観光商品や各種サービスの改善、旅行会社への営業手段等の向上 を図る。
青少年活動	マダガスカル チルヌマンディティ 青少年の家	首都から約220km離れた地方都市の青少年の家にて、配属先が行う各種文化・スポーツ活動、イベントの活性化や内容の充実化を支援しながら、 利用者のニーズに合わせて新たな活動の提案・実施 を行い、地方青少年の健全な育成に寄与する。
保健師	ケニア シアヤ・サブカウンティ保健事務所	ビクトリア湖に近い人口約4万人の町、シアヤを拠点とし、管轄内の保健医療施設を巡回し 住民と医療機関の関係強化 に努める。また 各施設の状況把握に努め 、医療サービスの質の向上を支援する。また、地域において課題解決を目指した活動を展開する。

5

青年海外協力隊に求められる(鍛えられる)資質、能力は、地方創生の場でも重要

● 草の根活動

地域の方々と同じ目線で、同じものを食べ、同じ場所に住み、同じ悩みを分かち合いながら活動する

● 「よそのもの。わかもの。ばかもの。」の役割

これまで、その地域に無かった発想、行動力、地域に対する熱意、周りを巻き込む影響力が期待される

● 協力隊員は支援者

主役になることを許されない。地域の方々をメインに、わき役に徹することが求められる。自分で突き進むと失敗してしまう。

6



東日本大震災復興支援 岩沼での活動

見守り活動を開始した5年前。すべてが試行錯誤でした。



東日本大震災復興支援 岩沼での活動

住民の自主的な活動を見守りながら。



東日本大震災復興支援 岩沼での活動

同じ仮設住宅に住みこみ、同じ目線で。



東日本大震災復興支援 岩沼での活動

時には、海外から応援も。

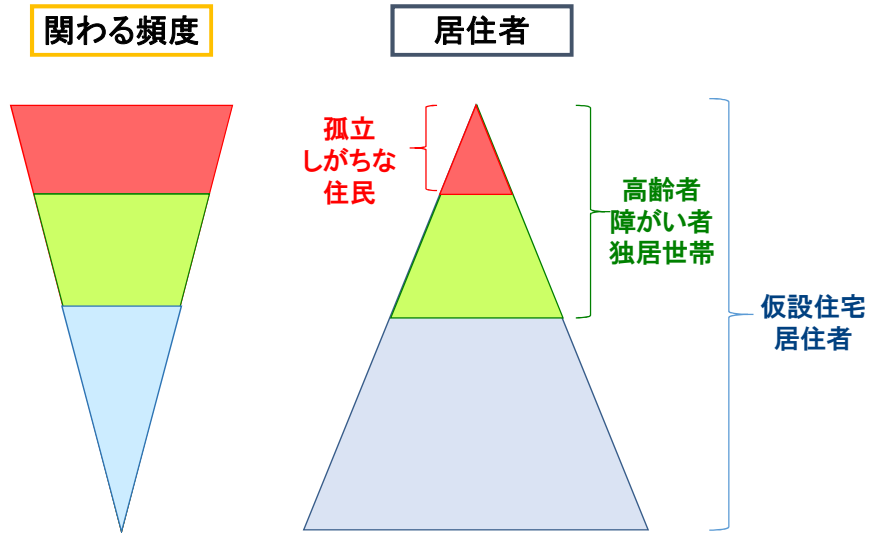


東日本大震災復興支援 岩沼での活動

他自治体に先駆けて仮設住宅を完全退去。
再出発の地で新たなステージへ。



自死を防いだ、現場の帰国隊員たちの取組み



復興から地方創生へ

復興のトップランナーとして

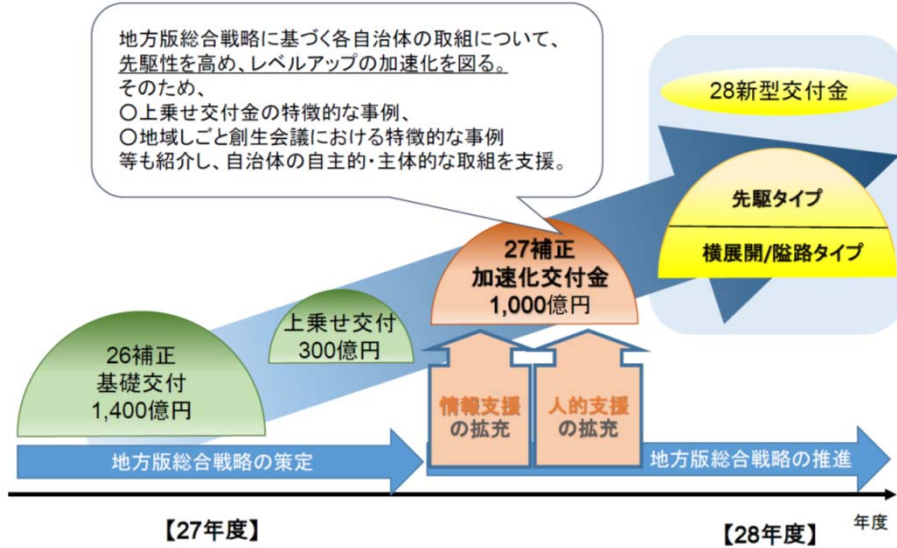
青年海外協力協会 地方創生戦略
「輪島KABULET」に続く第2弾!

IWANUMA Way

道を
拓け!!



地方創生加速化交付金の概要（イメージ）



「佛子園」の組織概要と取り組み事業

それぞれの地域に応じた
コミュニティ支援を展開

輪島KABULET® (2015年～)
漆とともに成長する
まち・ひと・しごとづくり

日本海倶楽部 (1998年～)
能登の高齢過疎地にてビール醸造で地域おこし

Share金沢 (2014年～)
多世代ごちゃまぜの新しい街づくり

むじん蔵 (2010年～)
風情ある町家をサロン・カフェに再生

エイブルペランダBe (2006年～)
廃業銀行店舗が子ども達の
創作ペランダに再生

額鬚張魯肉飯 (2004年～)
金沢工業大横の閉鎖店が
人気店に復活

B'sプロジェクト (2015年～)
多機能高医療福祉連携の
住民自治モデル

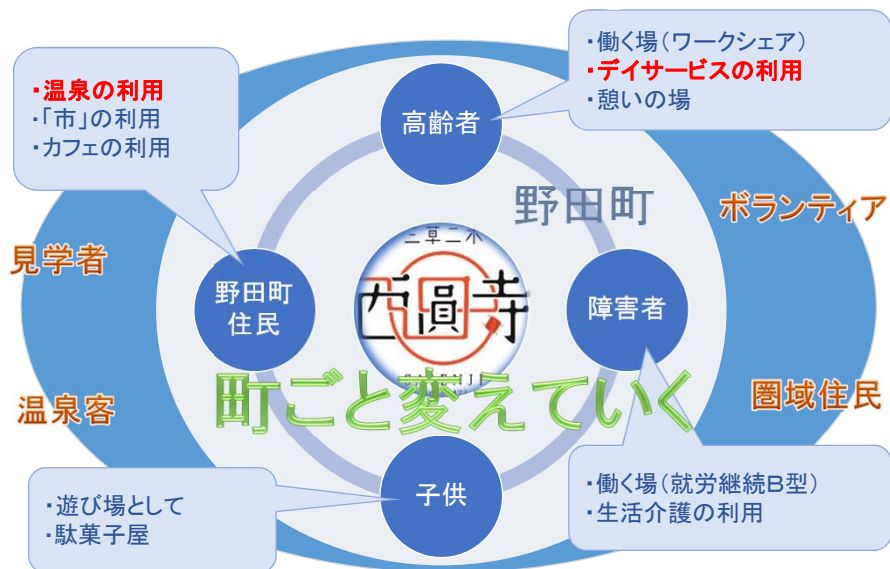
美川37café (2012年～)
駅利用者が1.5倍に！
「みんなが集う駅」に変貌

西園寺 (2008年～)
廃寺を温泉に、
地域コミュニティセンター
として復興

プータン・プロジェクト
「幸せの国」のさらなる
しあわせづくり

その他70事業を展開

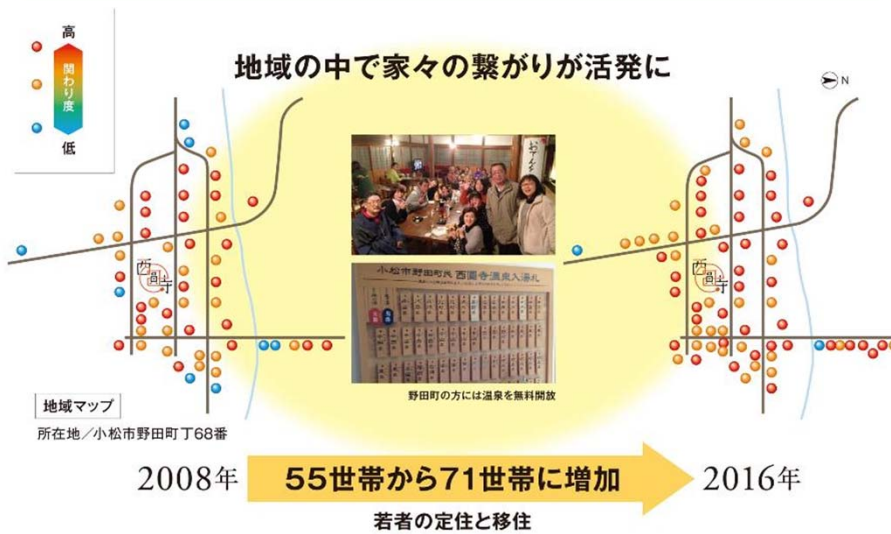
西園寺から始まる“町おこし”



西園寺地域マップ



三草二木 西園寺



東日本大震災支援から地方創生への流れ

地方創生「岩沼プロジェクト」の推進

事業コンセプト

元気な岩沼

- 被災地を元気にする
- 日本を元気にする
- 世界を元気にする

【事業背景】

岩沼市の地方創生事業を「青年国内協力隊」が担う

- 亀塚市営住宅跡地
- 公設市場跡地
- 玉浦西地区
- 災害危険区域

の復興・再生



地方創生 生涯活躍のまち推進プロジェクト

【IWANUMA WAY 沿岸部】



農園



牧場

広報 いわぬま12 December 2016 平成28年 No.885

いわぬま未来構想の実現を目指して

ヒンジたちも冬支度
厩舎で暖かした二野倉地区では、交流活動や訓練で備えなどのために交流のヒンジを利用しています。冬支度となったこの時期も、ヒンジたちも活動的になっていますので、ぜひ会いに行ってみてください。

主な内容
生涯活躍のまち推進プロジェクトの進捗状況
市内の交流拠点マップ
交流拠点の活用状況
12月のお知らせ
二野倉・羊場の業務案内

2016年(平成28年)12月11日(金曜日) 羊新報 No.50

羊放牧1周年!

昨年の11月6日、2頭の羊から始まった・・・

放牧開始直後の「たま」と「うろ」。まだ目が濁んでいた。

「たま」と「うろ」は、放牧開始直後の姿。まだ目が濁っていた。放牧開始は9月に、放牧面積は未発表には30倍になる。さらに、放牧開始時に創刊した「羊新報」も50号目となった。また、現在お見受けの「羊ちゃん」の巻頭も掲載された。来年の12月には、羊の放牧が3年目を迎える。

来春にはB.A.B.Y.も、

「たま」と「うろ」は、放牧開始直後の姿。まだ目が濁っていた。放牧開始は9月に、放牧面積は未発表には30倍になる。さらに、放牧開始時に創刊した「羊新報」も50号目となった。また、現在お見受けの「羊ちゃん」の巻頭も掲載された。来年の12月には、羊の放牧が3年目を迎える。

年度内の育成を目指す
二野倉地区も、この1年で徐々に整備が進んでいる。昨年の9月時点で、羊の放牧が開始されたが、現在は羊たちの放牧地へ生草が交わった。整備が完了してきている。

2018年11月撮影 2015年9月撮影

○ 障害福祉×保育×高齢福祉×地域拠点



生涯活躍のまち 拠点施設

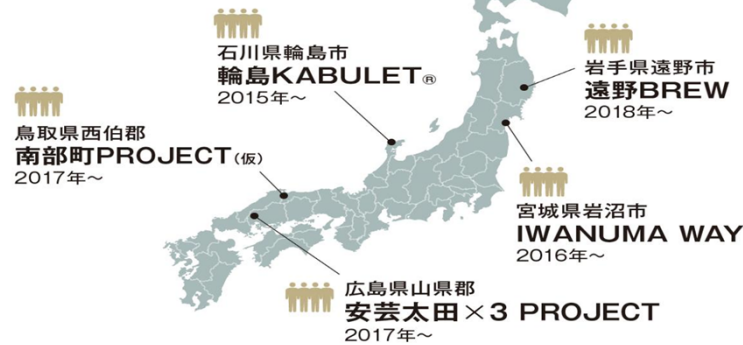
年間約1,000人の帰国隊員
120職種以上の多様な専門性を持った人材

BUSSI-EN

joint venture



全国に派遣



青年海外協力隊のOBOGが日本各地で「地方創生事業」に取り組んでいます。

プロジェクト推進の目的

- 地域社会の課題解決への挑戦
人口の急激な減少 人材不足 地域力の低下 等
- 帰国隊員のキャリアパス
ひとづくり・地域づくりに関わりたいOBOGの雇用の受け皿
- 次世代協力隊員の育成
地域づくりの場で若い世代を育成し、いずれ青年海外協力隊へ
- 少子高齢化社会の新たな地域づくりモデルの提示と海外発信
世界に先駆けて高齢化が進む日本の地域の経験を海外へ
- 地域を拠点に、地域の方々と共に、協力隊らしい活動を
JOCAの地域拠点の在り方、地域の方々との関わりを見直す

帰国隊員の活躍の場が広がっていく